

訓練を、やって終わりにしない。

実動訓練と机上訓練を、会社の現場に合わせて設計し、実施まで行います。



こんなお悩みはありませんか

- ✓ 避難訓練は毎年やっているが、形だけになっている
- ✓ いざという時、社員が動けるか不安がある
- ✓ 何から訓練すればいいかわからない



実動訓練の様子

◆ 得られること



いざという時に
動ける社員に

01

搬送・救護や資機材の扱いを、
実際に体を動かして身につけます。



当日の判断に
迷わない

02

被害を想定し、「誰が・何を・
いつ決めるか」を机上で
確かめておきます。



毎年、無理なく
続けられる

03

業種・規模・拠点に合わせて
組み立てるので、続けやすい
訓練になります。

◆ ご利用の流れ

STEP 1 ご相談

目的・規模・
ご希望を、
お聞きします

STEP 2 設計

内容・時間・役割を、
一緒に決めます

STEP 3 実施

当日は専門家が
進行します

STEP 4 振り返り

気づきをまとめ、
改善につなげます

あわせて：講話・研修

経営層から現場まで、わかりやすくお話しします。防災・BCPの
考え方から、水害・地震への備え、サイバーリスクまで、対象と時間に
合わせて組み立てます。

経営者向け 社員研修 商工会・自治体のセミナー

講話・研修 ご相談ください（講演・研修の実績 1,500件以上）

防災訓練の目安

30～60万円（税別）

規模・内容・場所により変わります

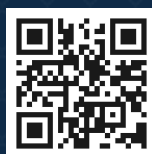
担当：山口 泰信（代表取締役／防災訓練・
BCP策定・避難所運営 専門）

※写真はイメージです。トヨタ・ヤンマー・出光 ほか、大手企業の防災訓練を多数実施しています。

まずは、お気軽にご相談ください（初回30分 無料）

0120-515-715 通話無料・平日9時～17時

株式会社BCPJAPAN info@bcppjapan.jp



LINEで相談



ホームページ

担当印

計画書で終わらせない、使えるBCPを。

訪問ヒアリングから、マニュアル5種を含む成果物一式の納品まで、お任せください。



こんなお悩みはありませんか

- ✓ BCPが必要なのは分かるが、何から手をつけるか分からない
- ✓ 作っても、担当者が替わると使えなくなりそう
- ✓ 取引先からBCPを求められる場面が増えてきた



ハザードマップを囲んで確認

◆ 得られること



何から始めるか、
迷わない

01

部署ごとのヒアリングと、備蓄・設備のチェックで、やることを整理します。



担当が替わっても
使える

02

マニュアル・一覧表・携帯ツールまで揃うので、引き継いで使えます。



取り組みを
説明できる

03

計画書の製本版と経営層向けサマリーで、社内外に示せます。

◆ ご利用の流れ（訪問は2回・半日ずつ）

STEP 1

事前ヒアリング

オンラインで実施し、一次案をつくります

STEP 2

訪問1日目(午後)

部署ごとのヒアリングと、備蓄・設備のチェック

STEP 3

訪問2日目(午前)

総務・社長へのヒアリングと総評

STEP 4

後日 納品

成果物一式を、お届けします

お届けする成果物（主なもの）

マニュアル5種 防災／初動対応／業務再開／サイバー対応／避難訓練
一覧・リスト 災害トリガー表／緊急連絡先／BIA診断結果一覧／
リスクチェック結果サマリー

携帯ツール 防災しおり(簡易版)／役割カード(名刺サイズ)

まとめ BCP文書一式(製本版)／経営層向けサマリー オプション
卓上POP

BCP策定支援

60万円～（税別）

規模・拠点数・部署数により変わります
訪問は計1日(予備日を含め
1.5日が目安)

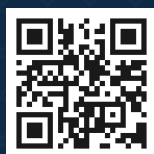
担当: 山口 泰信(BCP策定 専門)

※大きな会社は、部署の数に応じて訪問日数が増えます。

まずは、お気軽にご相談ください（初回30分 無料）

0120-515-715 通話無料・平日9時～17時

株式会社BCPJAPAN info@bcjpjapan.jp



LINEで相談



ホームページ

担当印

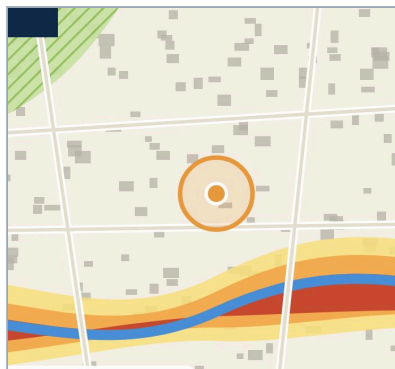
あなたの会社の土地、本当に大丈夫ですか。

住所から水害・地震のリスクを調べ、冊子のレポート「防災ノート」でお届けします。



こんなお悩みはありませんか

- ✓ ハザードマップは見たが、自社の土地のリスクが分からない
- ✓ 水害・地震で事業が止まらないか心配
- ✓ どこから備えるか、優先順位がつけられない



防災ノート（見本イメージ）



◆ 得られること



自社の土地の
弱点分かる

01

住所をお知らせいただくだけで、
水害・地震のリスクと土地の
クセを調べます。



見て分かる
一冊になる

02

地形図やハザードマップなどの
公的な資料をもとに、冊子に
まとめます。



備える順番が
決めやすい

03

地盤調査8,000件超の経験をもつ
神山 健が、土地のクセを
読み解きます。

◆ ご利用の流れ

STEP 1

住所をお知らせ

会社・工場・店舗など、
調べたい場所の住所を
教えてください

STEP 2

リスクを調査

水害・地震など、その土地の
リスクを調べます

STEP 3

冊子でお届け

「防災ノート」としてまとめ、
お渡しします

防災ノートで分かること

その土地の水害・地震などのリスクと、土地のクセ（地形・地盤）

ハザードマップや地形図を載せた、見て分かるレポート

BCP策定や防災訓練など、次に何をすべきかを考える入口

防災ノート

22,000円（税込）

1か所（1住所）あたりの目安です

担当：神山 健（シニアコンサルタント／
土地・リスク分析・DX 専門）

※見本・画像はイメージです。内容は土地の条件により異なります。まずはここから、BCPの第一歩におすすめです。

まずは、お気軽にご相談ください（初回30分 無料）

0120-515-715 通話無料・平日9時～17時

株式会社BCPJAPAN info@bcpjapan.jp



LINEで相談



ホームページ

担当印

宿泊者の「もしも」に、QRコードで答える。

ホテルなど拠点の防災情報を、QRコードでご案内するサービスです。



こんなお悩みはありませんか

- ✓ 宿泊者に、災害時の避難場所や行動を伝える手段がない
- ✓ 紙の案内は、更新が追いつかない
- ✓ 防災に取り組んでいることを、お客様に伝えたい



フロントに置くPOPのイメージ

◆ 得られること



宿泊者の不安を減らせる

01

QRコードを読むだけで、避難場所など、その拠点の防災情報を確認できます。



案内の更新がラク

02

情報はWebページなので、変更があっても差し替えやすくなります。



取り組みが伝わる

03

グレードI～IIIの認証で、防災への取り組みを見える形にします。

◆ ご利用の流れ

STEP 1

拠点の確認

施設の場所・規模・既存の防災情報を確認します

STEP 2

情報ページの作成

その拠点の防災情報ページを作ります

STEP 3

POPを設置

QRコード入りのPOPを、フロントなどに設置します

Safe Stay 認証制度

グレードI
防災情報

グレードII
防災対応

グレードIII
避難拠点

取り組みの段階に応じて認証します(発行元:株式会社BCPJAPAN)。

Safe Stay(1拠点)

99,000円 (定価)

更新・サーバー利用は別途ご案内します

担当: 神山 健(土地・リスク分析・DX 専門)

※拠点数・内容により変わります。QRコード・画像はイメージです。

まずは、お気軽にご相談ください(初回30分 無料)

0120-515-715 通話無料・平日9時～17時

株式会社BCPJAPAN info@bcjpjapan.jp



LINEで相談



ホームページ

担当印

災害に強い会社、自分たちでつくれます。

社内にBCPリーダーを育てる、全10回のオンライン講座です。



こんなお悩みはありませんか

- ✓ 外部に任せきりで、社内にノウハウが残らない
- ✓ BCPを自社で作れる担当者を育てたい
- ✓ 費用を抑えて、本格的に取り組みたい



オンラインで受講（イメージ）

◆ 得られること



社内にBCPを
作れる人が育つ

01

全10回・各約90分の
ライブ講座で、基礎から
段階的に学べます。



無理なく、
本格的に作れる

02

講座に沿ってBCPシートを
入力すると、自社のBCPが
形になります。



助成金を使える
場合も

03

条件を満たせば、助成金を使える
場合があります（受給をお約束する
ものではありません）。

◆ 学びの流れ

STEP 1

講義を受ける

ライブ講座（各回
約90分）

STEP 2

シートに入力

BCPシートに自社の
状況を入力します

STEP 3

確認テスト

各回の内容を
テストで確認します

STEP 4

修了

修了テストと
成果物の提出

講座の内容（全10回・一部）

Vol.01 防災とBCPの違い・体制

Vol.05 サイバーBCP

Vol.02 土地×防災 立地リスク

Vol.06 財務・保険

Vol.03 BIA（事業影響度分析）

ほか、全10回

講師：山口 泰信／神山 健／高橋 智之／武田 繁祈。次回の開講は2027年
1月（予定）です。

受講料の目安（定価）

22万～39.6万円（税込）

経営者コース（全6回） 220,000円

マスターコース（全10回） 396,000円

ご相談ください。コース選びから
ご案内します

※期間限定の割引価格があります。助成金は条件を満たす場合に利用できることがあり、受給をお約束するものではありません。

まずは、お気軽にご相談ください（初回30分 無料）

0120-515-715 通話無料・平日9時～17時

株式会社BCPJAPAN info@bcpjapan.jp



LINEで相談



ホームページ

担当印

事業が止まる原因を、先に断つ。

ランサムウェアなどのサイバー被害に備え、体制と手順を整えます。



こんなお悩みはありませんか

- ✓ ウイルス感染や身代金要求で、業務が止まる不安がある
- ✓ 社員のセキュリティ意識に自信がない
- ✓ 被害にあった時の対応手順が決まっていない



◆ 得られること

業務停止の
リスクが見える

01

今の状況を診断し、事業が止まりかねない弱点を洗い出します。



被害時に迷わない

02

対応マニュアルで、判断と連絡の手順を決めておけます。

BCP全体で
備えられる

03

防災・BCPと一体で整えるので、抜け漏れが減ります。

◆ ご利用の流れ

STEP 1

状況をお聞きする

システム・業務・体制の現状を、お聞きします

STEP 2

リスクを診断

事業が止まる原因と、備えの不足を整理します

STEP 3

対応を整える

対応マニュアルをつくり、体制を見直します

こんな方におすすめです

取引先から、情報セキュリティへの対応を求められている
BCPを作る中で、サイバー被害への備えも入れたい
何から手をつければよいか、専門家に相談したい
サイバー対応マニュアルは、BCP策定支援にも含まれます

サイバー対策

ご相談ください

状況をお聞きして、お見積りします

担当：武田 繁析（北海道事業所長／
サイバーリスク・セキュリティ 担当）

※内容・費用は、状況をお聞きしたうえでご提案します。

まずは、お気軽にご相談ください（初回30分 無料）

0120-515-715 通話無料・平日9時～17時

株式会社BCPJAPAN info@bcjpjapan.jp



LINEで相談



ホームページ

担当印